

愛知用水通水50周年記念

未定稿

## 愛知用水の碑 写真集



1961年9月30日 通水を喜ぶ人々

2011年4月

独立行政法人 水資源機構 愛知用水総合管理所  
<http://www.water.go.jp/chubu/aituosui/>

## はじめに

世紀の大事業、愛知用水が完成して50年。愛知用水には、建設中に亡くなられた方を祀る慰靈碑や完成記念の碑が、牧尾ダム、兼山取水口、愛知池周辺などに数多く設置されました。愛知用水通水開始50周年を記念して、写真を中心とした「愛知用水の碑写真集」を作成しました。

愛知用水に携わった先人の偉業、事業に支援・協力頂いた方々及び豊かに水を利用できることに感謝し、この50周年を契機に、今一度、愛知用水の恩恵、水源地域への感謝の思いを再確認し、水の絆を未来に繋げていきましょう。

2011年4月 愛知用水総合管理所

注：碑文等の漢字・数字は、刻字を基本にしましたが、読みやすくするため当用漢字、アラビア数字、横書きとしたものもあります。また、本文中の市町村名は、碑の建設時点で記載しました。

## 目 次

### はじめに

I 牧尾ダム記念碑等	・・・・・・	p 1～
II 兼山取水口記念碑等	・・・・・・	p 5～
III 松野池記念碑	・・・・・・	p 7
IV 三好池記念碑等	・・・・・・	p 7
V 愛知池（東郷調整池）記念碑等	・・	p 8～
VI 佐布里池記念碑等	・・・・・・	p 15～
VII 愛知用水感謝の碑	・・・・・・	p 20
VIII 入鹿池記念碑	・・・・・・	p 21
参考 愛知用水の主な書籍等	・・・・・・	p 22

おわりに



柄杓で水をまいた昭和の時代



整備された愛知用水通水後の畠地

## I 牧尾ダム記念碑等（長野県木曽町三岳 7696・1 牧尾ダム管理所構内）

### 1 牧尾ダム建設時殉職者慰靈碑

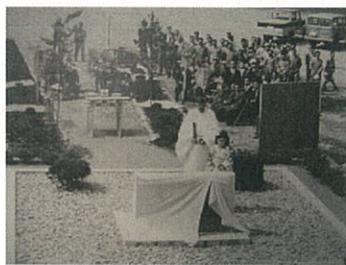
(表面)

慰靈

上部（みがき部分）150 × 70 cm  
材料 花崗岩（みがき加工）



慰靈碑と遺族 (S36年)



慰靈碑除幕式（同年）



(裏面)

#### 殉職者氏名（21名）

押切亀吉 渡辺繁治 西田敏雄 高橋昭三 西岡武夫 河村 裏 大森益次郎  
鷹尾繁隆 板谷照雄 高山良清 筧島 勇 相良 勇 山崎儀三郎 石川 薫  
田地正男 駒形勝重 塔本末藏 神成幸雄 阿部忠明 菅原一雄 吉田政一

企業者 愛知用水公団

牧尾ダム工事施工 西松建設株式會社

森林鉄道付替工事施工 飛鳥土木株式會社 三井建設株式會社 株式會社岡谷組

昭和36年5月建之

○慰靈祭名称 愛知用水建設殉職者慰靈祭・水源感謝祭

時期 每年7月中旬（吉日）

祭式 仏式と神式を一年交替で実施する。23年度は神式で御嶽神社から宮司1名

主催者 愛知用水講 橋本会長、愛知用水講会員（全30名）

水機構 愛知用水総合管理所長、牧尾管理所所長ほか2名

地元 王滝村：村長、議長 木曽町：町長、議長、三岳支所長代理総務課長

木祖村：村長代理副村長、議長（平成23年度実績）

毎年7月になると愛知用水講による「愛知用水建設殉職者慰靈祭及び水源感謝祭」が牧尾ダム慰靈碑前で実施される。愛知用水講は、愛知用水の建設にご尽力された故久野庄太郎氏の提案により、愛知用水建設中に亡くなられた殉職者の方々等を祀るために慰靈碑を建立し、祀り、護っていくことを目的に、知多市を中心とする愛知用水受益者で組織されています。

平成9年からは、味噌川ダムに係る木祖村も参加しています。

また、毎年5月、11月には、知多市佐布里池湖畔の愛知用水神社・水利觀音春季祭、秋季大祭として殉職者の法要が行われています。

## 2 牧尾ダム完成記念碑

材料 碑体 台座 砂岩（自然石）  
笠石 花崗岩（みがき加工）

碑文（表）

愛知用水公団  
牧尾ダム  
西松建設株式会社

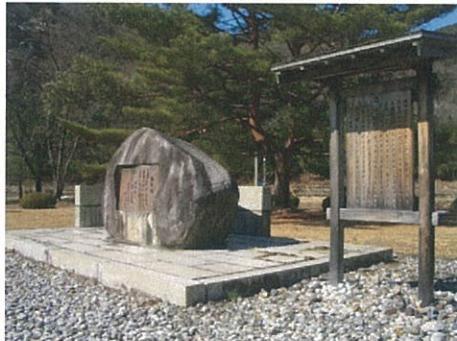


（裏）

工事関係者氏名  
愛知用水公団 総裁 濱口雄彦  
工事担当理事 濱戸忠武  
堰堤事業所長 畑柳嘉男  
エリックフロアー会社 主任技師 ハリー・アールリブナー  
西松建設株式会社 社長 西松三好  
中部支店長 高橋勝雄  
牧尾工事事務所長 岡 一衛  
建立年月日 昭和 36 年 5 月 28 日

## 3 御岳湖碑石

建之年月日 昭和 36 年 5 月 28 日



材料 砂岩（高 1.6m × 幅 2.2m × 厚 1.2 m）

誌（木版の記述）

昭和 36 年 3 月末このダムの完成近くなり 愈々湛水開始の時を迎えましたが 当日まで活躍した掘削機を河床から待避移動させる途中 堤体前面（上流側）の急坂で故障して動かなくなり 遂に 30 米の水中に没するの止むなきに至りました。後日引き揚げた際、この大きな石が掘削機のキャタピラの上に乗って浮上しましたが それは恰も水中に眠るのをいとうが如くでした。

依って 姿 大きさ共に申し分のないこの石を碑石として使用いたしました。

碑文（表）



御岳湖

まなかひにたたへられた  
木曽の水は百年の  
夢をうつつに新らしい  
河を流れゆく  
ゆくてに幸 多かれ

昭和三六年五月廿八日

濱口 雄彦書

(愛知用水公団總裁)

碑文（裏）

ダム記念誌

愛知用水公団

昭和 38 年 5 月 28 日建立

愛知用水公団は、木曽川水系の水資源を総合的に開発しその利用の高度化を図るため、昭和 30 年 10 月 10 日に設置された。公団はその目的を達するため、主要水源工事である牧尾ダム、幹線水路、支線水路および調整池などの大規模かんがい施設の新設、管理ならびに開田、開畑等の事業を行うものである。また公団は関連事業である発電、上水道用水および工業用水事業に対し融資するとともに、これらの事業に必要な用水を供給するものである。

下段左側

牧尾ダム建設の主たる経過

- 昭和 31 年 3 月 15 日堰堤事務所を設置す
- 同年 5 月 4 日米国エリックソン社と技術援助協定を締結す
- 昭和 32 年 8 月 9 日国際復興開発銀行と借款協定を調印す
- 同年 12 月仮排水路工事を開始し、牧尾ダム工事の第一歩を印す
- 同月 21 日鉄入れ式を挙行す
- 昭和 33 年 6 月 11 日補償協定を締結す
- 昭和 34 年 8 月 17 日築堤を開始す
- 同月 20 日定礎式を挙行す
- 昭和 36 年 2 月 28 日築堤を完了す
- 同年 4 月 26 日湛水を開始す
- 同年 5 月 28 日牧尾ダム完工式を挙行し「御岳湖」と命名す



下段右側

牧尾ダムの諸元

- 河川名 木曽川水系王滝川
- 築堤位置 長野県西筑摩郡王滝村 三岳村
- 流域面積 304 km<sup>2</sup> 直接流域 73 km<sup>2</sup> 間接流域 23 km<sup>2</sup>

湛水面積	2.4 km <sup>2</sup>
満水位標高	880 m
総貯水量	75,000,000 m <sup>3</sup>
有効貯水量	68,000,000 m <sup>3</sup>
ダムの型式	中心コア型ロックフィルダム
堤頂標高	885 m
堤高	河床上 81 m 基礎岩盤上 106 m
堤頂長	264 m
堤体積	2,615,000 m <sup>3</sup>
ロック層	956,000 m <sup>3</sup>
トランジション層	1,075,000 m <sup>3</sup>
フィルター層	114,000 m <sup>3</sup>
中心コア層	194,000 m <sup>3</sup>
上流部仮締切ダム	276,000 m <sup>3</sup>
余水吐	型式 シュート式余水吐 ゲート テンターゲート 4門 (10m)

#### 4 愛知用水30周年記念碑

建立年月日 平成3年8月28日

主旨 愛知用水サミット宣言に基づき、水源地である長野県王滝村、三岳村に感謝するとともに、水の大切さを改めて思い起こそうと、牧尾ダムで水源地の集いが開催されました。



子供たちの目は、受益地である知多半島へ向いている。

#### 5 牧尾ダム堆砂対策事業完工の碑



##### 碑文 共生

愛知用水二期事業促進期成同盟会会長  
(伴武量氏:写真) の揮毫による

上下流(水源地~知多半島先端まで)  
の共存共栄の願いをこめて「共生」

平成18年10月19日除幕

## II 兼山取水口記念碑等

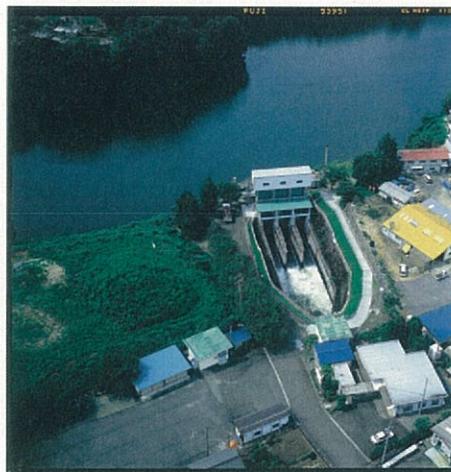
岐阜県加茂郡八百津町伊岐津志 241-2 (上流管理所構内)

### 1 慰霊碑

建之年月日 昭和 36 年 7 月

碑文（表） 慰霊碑

濱口 雄彦 書



兼山取水口

愛知用水の取り入れ口「兼山取水口」は、愛知用水の水源牧尾ダムから木曽川を 120 km 下った岐阜県加茂郡八百津町（木曽川河口から 78 km）にあり、関西電力(株)の兼山ダム直上流に位置し、3 門のゲートにより最大毎秒 30m<sup>3</sup> を取水しています。

碑文（裏）

#### 愛知用水事業殉職者名簿

##### 愛知用水公団殉職者（12名）

今村輝治 服部寅治 林 一義 大津敏男 岡田信治 河村千代松 横田維俊 小沢恒幸  
エドワード・エルビスレー 仙田 晃 藤村宏子 小林きよ

##### 愛知用水工事施工業者側殉職者（30名）

岩本一夫 萩本勝之 西本 博 西野 勇 岡田俊信 渡辺金作 上条常二 亀井忠夫  
門脇信夫 可児清市 田中正明 生天目国愛 長江岩造 村上信夫 真島清松 山本義男  
藤田多三郎 福島利行 小島一作 青地辰造 浅井三郎 青山和夫 佐藤恒次 北島礼兒  
宮坂 勇 島田昭也 平浜 豊 追尾盛義 鈴木運一郎 三村貞男

## 2 総裁記念碑

建立年月日 昭和36年6月27日



碑文 裏 (縦書銅板横400×縦600)

この木曽の水は百年の  
夢をうつつに愛知用水  
として濃尾の野をうるほす  
ゆくてに幸多かれ  
昭和三六年六月二七日  
濱口 雄彦 書

愛知用水は水資源の高度利用による国土総合開発事業として生まれ、公団という新組織により実施し、外資を含めて423億円の費用を投じて、着工以来3年半の短期間で完工するに至った。

主要工事は、木曽川支流王滝川にロックヒルダムによる貯水量7500万トンの御嶽湖を造り、この水は出力3.4万キロワットの新規発電と下流にある既設発電所の発電力増加に寄与し、木曽川の下流岐阜県八百津町に取水量毎秒30トンの取水口を設け、これにより知多半島突端に至る112キロの幹線水路、全長1200キロの支線水路および貯水量900万トンのアースダムによる調整池を新設し、これによって田畠おおむね3万ヘクタールをかんがいし、上水道および工業用水に多量の水を供給しようとするものである。

かくて木曽の水は、近代技術の粋をこらしてダムと開水路、トンネル、サイフォンなどの人工水路により、岐阜、愛知両県を貫通して中部地方農業の近代化あるいは生活文化の向上に、就中中部産業経済圏の飛躍的発展のために未来永劫黙々として流れ��くことであろう。

## 3 愛知用水観音

材料 陶器製品の立像、台座はコンクリート製  
作者 星合信令（陶芸家 尾張旭市柏井町）

碑文（表） 台座に「愛知用水観音」

碑文（裏） 像に「慈眼視衆生」

昭和45年5月建設

愛知用水公団理事長 塩見友之介



### III 松野池記念碑

場所 岐阜県瑞浪市日吉町松野

松野池は、昭和 28 年岐阜県の可児川防災溜池事業の一環として着工、同 31 年愛知用水事業の補助溜池として共用することで設計変更後、同 36 年に完成しました。

松野集落の 13 戸の家屋と耕地は水没。

鎮守八幡神社の池側に水没された戸主の想いとその氏名が碑に刻まれています。



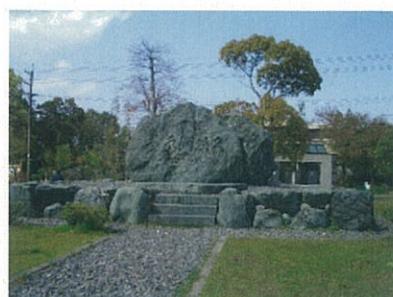
### IV 三好池記念碑等

場所 愛知県みよし市

#### 1 夢水潤悠久の碑

碑文表 夢水潤悠久の碑

先人の遺業を称え、併せて愛知用水の恩恵を慶び、水源に思いをはせ、水源地域の方々に感謝し、その心を子々孫々に伝えるため、昭和61年に建立されました。



#### 2 三好池神社(三好池神社奉賛会)



建立 昭和 63 年 4 月

世紀の大事業である愛知用水の恩恵に感謝し、三好池の御守護を祈願し、悠久に枯れることのない守り神として建立されました。

この神社は、三好町土地改良区、同利水委員会が発起者となり、町民並びに関係各位の寄付金を浄財として建てられました。

水の神 奈良県吉野村 丹生川上神社 中社

雨の神 " 上社

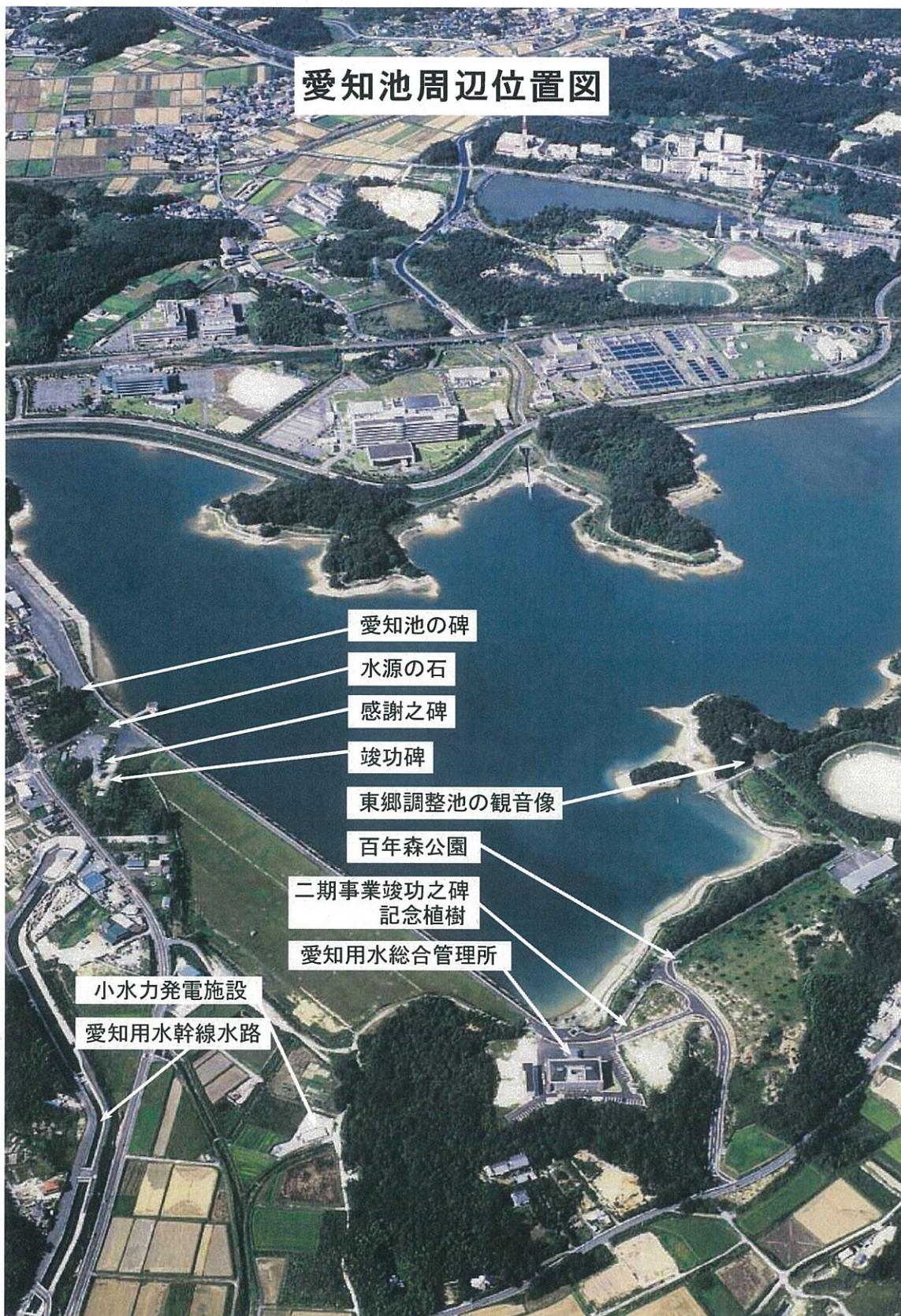
土の神 滋賀県新旭町 波爾布神社

#### 3 ベンチマーク

いつ建立されたかは調査中  
三好池のダム左側に  
ひっそりと立っています。



## 愛知池周辺位置図

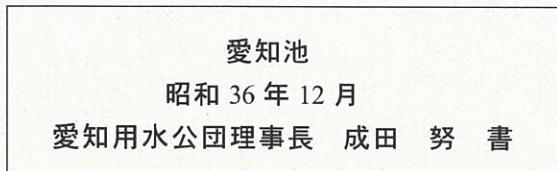


## V 愛知池(東郷調整池)記念碑等

愛知郡東郷町大字諸輪地内

### 1 愛知池

碑文 (表)



碑文 (裏)

此の池は愛知用水幹線水路の署中央に位し兼山堰堤取水口から取入れた木曽川の水を貯留し耕地のかんがい、上水道、工業用水の効率的な調整を図るために築造されたものである。

愛知池

満水面積 970,000 平方米  
満水位標高 69 米 30 櫛  
貯水量 9,000,000 立方米

東郷堰堤

型式 傾斜コア一式アースダム  
堤頂標高 72 米  
堤頂長 975 米  
堤頂幅 6 米  
堤体積 1,040,000 立方米  
工事費 1,400,000 千円  
着工 昭和 34 年 12 月  
完成 昭和 36 年 12 月  
施工者 鹿島建設株式会社

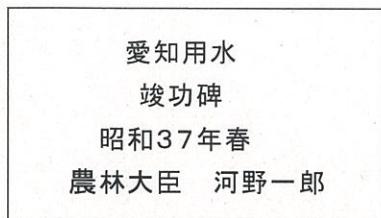


愛知池の風物詩

中日本レガッタ (毎年 4 月開催)

## 2 愛知用水竣工碑

碑文(表)



昭和 36 年

碑文裏の銅板碑文（上段）

岐阜県可児郡から名古屋市の東方を経て知多半島に及ぶ愛知用水地域は、長年の間農業用水など水の不足に苦しんできた。  
しかし愛知用水事業の完成によって、この地域に住む数十万の人々の水への渴望は満たされた。  
愛知用水公団は国をはじめ愛知・岐阜・長野三県および関係市町村等の緊密な協力を得て、日本における最初にして最大のこの総合開発事業を所期のとおり遂行した。  
牧尾ダムに源を発する愛知用水の豊かな流れは、今後各種産業の開発発展を力強く推進してゆくだろう。

(下段)

総事業費 423億円	□ 主要工事概要	□ 工期 昭和31年～36年
牧尾ダム 位置 長野県西筑摩郡王滝・三岳村	東郷ダム 位置 愛知県愛知郡東郷村	
(御嶽湖) ダム型式 ロックフィルダム	(愛知池) ダム型式 アースダム	
堤高 81米	堤高 31米	
堤長 264米	堤頂長 975米	
堤体積 262万立方米	堤体積 104万立方米	
貯水量 7500万立方米	貯水量 900万立方米	
愛知用水取入口 位置 岐阜県加茂郡八百津町	補助ため池 三好池・松野池	
ゲート型式 テンターゲート 3門	上水道工業用水 净水施設4ヶ所	
最大取水量 每秒30立方米	配水管延長 622糸	
幹線水路延長 112糸	王滝川発電所 位置 長野県西筑摩郡三岳村	
支線水路延長 1008糸	最大出力 3万4千キロワット	

### 3 感謝之碑

建立者 愛知用水土地改良区 愛知用水受益団体  
所有者 愛知用水土地改良区

解説：この碑は、愛知用水公団が水資源開発公団と統合されたのを記念し、「感謝の碑」として、愛知用水土地改良区と愛知用水受益者団体の関係市町村の寄付により建立されました。



碑文(表)

感謝之碑  
世紀の愛知用水工事を完成した愛知用水公団  
に対し、地元受益者の深甚な感謝の意をあら  
はすため、ここに植樹を行う。昭和43年10月1日

碑文（裏）



#### 受益団体

犬山市 小牧市 春日井市 名古屋市 旭町 瀬戸市  
長久手村 日進町 東郷村 豊明町 三好町 豊田市  
刈谷市 大府町 東浦町 上野町 横須賀町 阿久比町  
半田市 知多町 常滑市 武豊町 美浜町 南知多町  
愛知用水土地改良区

(平成 23 年 4 月現在の受益市町は、この他に愛知県大口町、扶桑町、岐阜県可児市、多治見市、土岐市、中津川市、瑞浪市、御嵩町、恵那市が参入。また、旭町は尾張旭市、長久手村・東郷村は町に、上野町と横須賀町は合併して東海市に、知多町、日進町、大府町、豊明町、三好町はみよし市になっています。)

### 4 愛知用水30周年記念 水源の石

#### 場所 愛知池堤体西駐車場北

愛知用水通水 30 周年記念事業として、東郷調整池駐車場横（竣工碑、愛知池手前）に愛知用水の水源地牧尾ダムの石を真中に、右に味噌川ダムの石、左に阿木川ダムの石を配置し、その周囲には記念の植樹を行っています。



2007 愛知用水カレンダー 1月採用写真

## 5 東郷調整池の観音像

東郷町大字諸輪字東百々地内(副堤高台)

形 体:コンクリート製立像

作 者:豊田市宮口町在住の彫刻家(詳細不明)

施工者:鹿島建設(株)

所有者:水資源機構

管理者:恵日山清峯院観音寺住職

(東郷町大字諸輪字観音畠八)



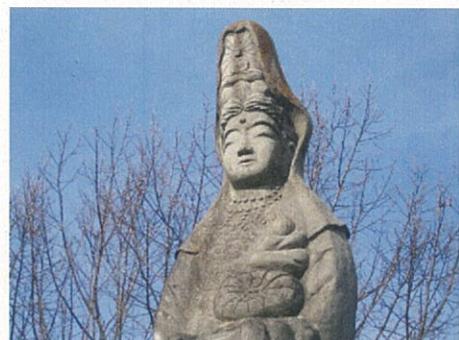
### 建設経緯

東郷調整池の建設で、通称「掃部山」(かもんやま)恵日山清峯院観音寺の観音様奥の院の聖地(現在の調整池東部半島の下の池の中字片平山地内)を東郷調整池の事業用地として公団(現独立行政法人水資源機構)が買収交渉をする時、地権者の方々は掃部山の隣地(現在の小島)に移転を希望されたが、池の中に私有地を残すことは将来小島を取り除き湛水面積を拡大する場合に、支障が生ずるため断念していただいた。その結果、地元とも相談し観音様奥の院の東隣地の山に観音像を建設することになりました。

建設は、K建設がコンクリート製立像で製作した。

当時、この観音様移転に協力戴いた「恵日山清峯院観音寺」の住職によれば、現調整池観音像の建立で当時、公団と取り交わした条件は、次のとおりです。

- 1) 建立は、公団で行う。
  - 2) 観音像の管理は、「恵日山清峯院観音寺」住職が行う。
  - 3) お供えものはしないこと。  
(腐敗物が水質を汚染するため)
  - 4) 線香、ローソクはあげないこと。(火事の原因となる。)
- また、堀部住職は、最近は像本体にひびがはいり、老朽化してきたので、寄付を募り修理したい意向である。この時は銘板を取付け由来等を記入したいとしている。
- 5) 祭祀は年2回(8月、10月)であるが、最近は10月のみ行っている。



## 6 百年森公園

碑文(表)百年森公園



碑文(裏)

百年の森公園は、この愛知池を出発点として、尾張と三河の行政区の違う境界上に帯状に残されている自然環境と、その所々に点在する公共性の高い施設を拠点(住民の憩いの場)とし、・・・(略)・・・ 愛知用水の源流、長野県にある牧尾ダムより運びし石に「百年森公園」の名を刻み、この地に暮らす人々の手で創る夢の公園の出発点とする。

## 7 愛知用水二期

### 碑文（表）

愛知用水二期事業竣工之碑  
愛知県知事 神田 真秋

場所 東郷町大字諸輪字片平山地内  
建立 平成 16 年 10 月 22 日



碑文（裏）



この碑は、“水源地を想うこころ”をこめて  
牧尾ダム「御岳湖」の石が使われております。

牧尾ダムに源を発する愛知用水の豊かな流れは、農業・水道・工業用水を供給しつづけ、愛知用水地域の生活や産業を支える水の大動脈として、中部経済圏の飛躍的な発展に多大な貢献をしてきました。

昭和 36 年の通水開始以降、産業の発展に伴う水需要の更なる増大、通年通水の確保、施設の老朽化、水路沿線の都市化などに対応するため、新設した阿木川ダム・味噌川ダムによって水源を増強するとともに、昭和 56 年度から幹線水路の通水能力増強・複線化、支線水路のパイプライン化、調整池の増設、水路管理施設の近代化などを図る愛知用水二期事業を実施してきました。

また、牧尾ダムは、昭和 59 年 9 月の長野県西部地震による御嶽山山腹大崩壊により大量の土砂が流入堆積し、貯水機能が低下したため、貯水機能の回復と周辺の災害防止を図る牧尾ダム堆砂対策が平成 7 年度から愛知用水二期事業に追加されました。

二期事業によって生まれ変わった愛知用水は、21 世紀においても、地域社会に対してその重要な役割を果たし、地域と調和した「水とともに文化を育む愛知用水」でありつづけることを祈っています。

平成 16 年 10 月 22 日 独立行政法人 水資源機構

## 8 愛知用水二期事業竣工 記念植樹

碑文表 愛知用水二期事業完成記念植樹  
裏 平成 16 年 10 月吉日 事業従事者有志一同



## 9 愛知用水記念碑(東郷第二開水路横)

### 場所

東郷町大字春木字古池地内

(東郷第二開水路左岸)

施工者 東郷村愛知用水建設総代会

管理者 東郷町春木区長

碑文 **愛知用水記念碑**

愛知用水公団副理事長

伊藤 佐 書



裏面 (省略)

高さ123cm 幅48cm 厚さ10.5cm(台座除く)



小水力発電施設

愛知池と諸輪第一開水路の遊休落差を利用して年間約 7,000MW の発電を行う愛知池管理用小水力発電所。その発生電力を総合管理所に送り、購買電力の削減を図り、管理費のユーザー負担の軽減に資することを目的としています。

## 1 佐布里池

碑文表 佐布里池  
 昭和 40 年 5 月  
 愛知県知事 桑原 幹根  
 建設者 愛知県



## 裏面

この佐布里池は、中部経済圏の一大躍進の願いをこめて 昭和 40 年 5 月 われわれの父祖伝来の地に完成した  
 思えば 昭和 34 年その計画を知った 232 名の関係地主は、対策同盟会を結成しこの重大事に対処してきた  
 土地は 農民の命である しかし この池の築造は愛知県営工業用水道のかなめである 苦惱 協議 交渉の結果 昭和 38 年 8 月 耕地山林約 120 ヘクタール 水没家屋 2 戸の補償が県との間に妥結した  
 今 池を見るにおよび 万感こもごもつきるところもない  
 ここに その経緯をしるし 周辺地域の発展と我々住民の幸福を祈る

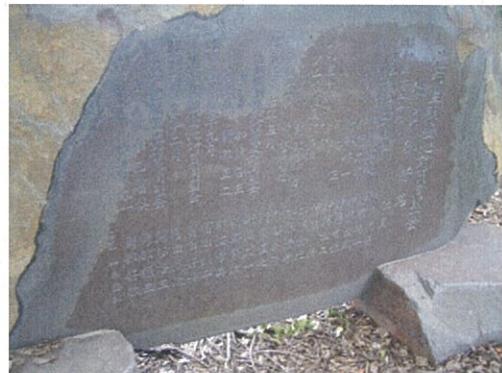
昭和 40 年 5 月

## 概要

目的 名古屋南部臨海工業地帯に供給する工業用水の調整池  
 事業主体 愛知県  
 事業着手 昭和 38 年 9 月  
 事業完了 昭和 40 年 5 月  
 事業費 約 24 億円  
 水源 木曽川（愛知用水）  
 満水面積 61.2 ヘクタール  
 本堤 型式 中心コア一式アースダム  
 堤高 21 m  
 堤頂長 180 m  
 堤体積 約 273 万立方メートル  
 流入工 最大流入量 11.5 t/s  
 取水塔 最大取水量 6.0 t/s  
 余水吐 最大放流量 5.0 t/s



## 2 佐布里池記念碑



碑文（表）

### 佐布里池記念碑

観る者はこの景致に風騒の情念を逞くし 想う者はこの水庫を利用の遍満を冀う  
嬉観る者想う者として己がじしその志を伸べしめられた佐布里調整池対策同盟会の諸氏  
竣工して今に至る二十星霜諸氏の対県折衝の努力と決断 奉仕への献身と労作を偲び  
且はその徳を称えて勞に報い 且はこの池の隆運を祈って こにこの碑を建立する  
早川甚三 撰  
昭和 61 年 3 月  
佐布里池竣工 20 周年記念実行委員会

碑文（裏）

### 佐布里池調整池対策同盟会

#### 役員御芳名

昭和 35 年 9 月 ダム設置反対同盟

委員長	阿知波清秋	副委員長	伊藤太市	鰐部好一	新海 正
役員	伊藤俊平	伊藤保一	伊藤金蔵	伊藤有録	伊藤鉄二

昭和 36 年 8 月 ダム設置反対同盟

委員長	鰐部益男	副委員長	前役員留任
役員	伊藤 清	加藤金光	加藤清孝 神谷義隆

昭和 37 年 5 月 佐布里調整池設置反対同盟会

会長	加藤啓三	副会長	鰐部正二
役員	新海直之	新海丈一	新海繁次 新海幸英

昭和 37 年 9 月 佐布里調整池対策同盟会

役員	富田鋼平	富田好博
----	------	------

昭和 39 年 2 月 佐布里調整池対策同盟会

会長	小西富英	副会長	阿知波九一
役員	富田淺二	深谷啓三	鰐部謙三 鰐部好敏

石匠 山本益郎

### 3 愛知用水神社（佐布里池湖畔）



左 愛知用水水利觀音堂 右 愛知用水神社



神社手前から見る佐布里池の梅林

管理者 愛知用水神社・愛知用水觀音奉贊会 愛知用水土地改良区  
祭神

主神 热田大神（守護神）

热田神宮

相殿神 1. 因象女神（水を主掌）

丹生川上神社（中社）

同 2. 水分神（流水の疎通分配を主掌）

吉野水分神社

同 3. 高靄神（雨を主掌握）

丹生川上神社（上社）

同 4. 塇山媛神（土を主掌）

波爾布神社

### 4 愛知用水觀音堂

御本尊 水利觀音



合祀 五十六靈位

#### 建立の経緯

受益者百年の夢であった愛知用水事業は昭和 32 年 11 月愛知用水公団の手によって着工され、関係者の絶大な御支援と御協力を得て昭和 36 年 12 月完成致しました。

爾来十四年間、この用水は尾張東部丘陵地帯より知多郡全域に亘る関係二十三市町における社会、経済及び文化発展の原動力となって参りました。

今後も、この地域がこの用水により更に一層の繁栄を続けることは関係者の切なる願いであります。

またこの四年間の工事期間中には、五十六名の方々が建設の尊い犠牲となられました。

用水の恩恵を受ける者と致しましては、五十六靈位を合祀し今後末永くその靈をなぐさめ、また感謝の誠を捧げたいと思うものであります。

この様な願望を実現するため、昭和 48 年 1 月、有志からなる愛知用水記念堂建立委員会が発足致しまして、広く浄財が募られました。

愛知用水土地改良区はこの委員会の要請を受け、昭和 50 年 3 月通常総代会において寄付財源により愛知用水神社と愛知用水水利觀音堂を建設することに決定しました。

その後直ちに専門委員会を設け計画について種々検討の上、現在の建築様式を定め、用地は用水ゆかりの地、佐布里池湖畔とし、同年 8 月建設に着手し昭和 51 年 3 月竣工致しました。

愛知用水神社五祭神は夫々御本社から御神札を受け同年 5 月 18 日午前、現地にご遷座され、水利觀音も同時に愛知用水觀音堂に入仏され、犠牲者も合祀されました。

### 建設の規模

用地面積 371.29m<sup>2</sup>  
神社建坪 2.56坪  
神社高さ 4.58m  
觀音堂建坪 2.56坪  
觀音堂高さ 4.72m  
建設費 千九百万円

### 水利観音の御本尊像の制作と寄進者

制作 常滑市 柴山 清風先生  
寄進 知多市 久野 庄太郎氏



毎年、愛知用水神社・水利観音春季祭、秋季大祭として殉職者の法要が行われております。(写真は平成18年11月1日)

駐車場から坂道を登ると愛知用水神社へ



神社内の石 水源地に感謝の意



### 5 水源感謝の碑

建立年月日 昭和60年5月

碑文(表)

水源感謝の碑 桑原幹根 書



碑文(裏)

## 愛知用水沿革

夢の用水といわれた 愛知用水の歴史は 同時に地域発展のあゆみであり 総合用水としてその機能を遺憾なく發揮し 名実ともに地域の大動脈としてその発展に大きく貢献してきた。

昭和 36 年 10 月通水以来二十四か年を経過した今日愛知用水の施設・機能回復安定供給をはかるため改修事業が計画され 昭和 56 年度幹線水路 昭和 59 年度より支線水路が愛知用水二期事業として水資源開発公団より推進されることとなった。

この時 愛知用水一期事業以来の先人たちの偉業を称え 改めて水源に思いをはせ水源地域の人々に感謝し、その心を子々孫々に伝えるため 愛知用水神社ならびに同水利観音像を祀るこの地にその由来をそえ感謝の碑を建立する。

### 建設の概要

昭和 23 年 6 月 地元有志により愛知用水計画実現運動開始

昭和 23 年 10 月 愛知用水期成会結成

昭和 26 年 12 月 国土開発法に基づく木曽特定地域指定

昭和 27 年 1 月 世銀農業調査団来日

昭和 36 年 10 月 通水開始

昭和 40 年 10 月 佐布里池完成

昭和 49 年度 愛知用水二期事業調査開始

昭和 57 年度 同事業の幹線水路着手

昭和 60 年度 同事業に支線水路追加採択

### 愛知用水神社同観音堂建立由来

昭和 51 年 3 月建立

用水の恩恵を受ける者として豊かな水が行末永く流れることに願いを込め、用水神社を建立するとともに併せて工事期間中の犠牲者五十六靈位・関係物故者を合祀する観音堂を建立了。

愛知用水神社	主神	熱田大神	熱田神宮	名古屋市熱田区
相殿神	罔象女神	丹生川上社中社	奈良県東吉野村	
"	水分神	吉野水分神社	奈良県吉野町	
"	高龕神	丹生川上神社神社	奈良県川上村	
"	埴山媛神	波爾布神社	滋賀県新旭町	

### 愛知用水觀音堂本尊水利観音

合祀殉職者五十六靈位・関係物故者

昭和 60 年 5 月 18 日 勲 5 等 浅井啓吉 書

池上勝次 刻

### 愛知用水奉贊会有志一同建立

## 6 高松宮御植樹

碑 高松宮殿下 御植樹  
同 妃殿下

愛知用水神社、水利観音が完成。高松宮殿下、妃殿下をお迎えし、式典が行われました。

昭和 51 年 5 月 18 日



## VII 愛知用水感謝の碑

愛知県知多郡阿久比町大字阿久比



碑文（表）

愛知用水  
感謝の碑

愛知用水土地改良区  
理事長 石川 紀一 書

### 木曽川の水を知多半島へ

遙か木曽の清流が愛知用水として知多半島の先端に達してより三六年有余が過ぎた。かつてこの用水期成のために献身的な努力をした人々の苦難が胸に迫ってくる。

古来、知多半島農民の水への悲願は大きいものがあった。知多地域内市町村の有志をもって組織する知多農民同志会は、木曽川からの導水を創案し、用水推進の主力として民衆啓発活動を地域全域に根強く展開した。

その指導者の一人に今は亡き阿久比町板山の山本孝平氏がいる。常に運動の先端に立ち、同志と共に手弁当で毎日のように部落集会に出席し、用水への理解を訴え、その結束を固めた。その弛まぬ真剣な努力が人々の共感を呼び、大きな民衆の力となって国、県を動かし、念願の夢の愛知用水は誕生した。

愛知用水の完成後は、この用水をいかに使うかが重要であるとの信念の基、地元の受益面積の確保、土地改良事業の推進に尽力し、今日、本町にみる農業基盤整備事業の進展、優良企業推進の基礎づくりに多大な貢献をした。

愛知用水期成の陰に氏を始め先人たちの限りない苦心、努力の積み重ねのあったことを忘ることはできない。

この度、阿久比町農家の人々によって感謝の碑が建立されることは、喜びの極みである。

板山地区維持管理協議会

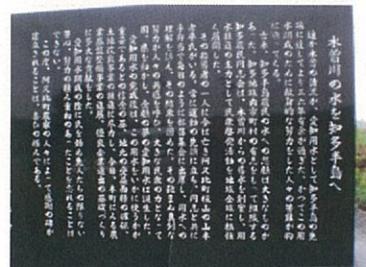
草木土地改良区

阿久比中部土地改良区

阿久比南部土地改良区

平成十年二月吉日建立

碑文（裏）



## VIII 入鹿池記念碑

愛知県犬山市字篠平

### 1 入鹿池



大規模老朽のため池事業が昭和37年10月から着工され、同47年3月に竣工しました。

これは愛知県が事業主体となり、  
事業費5億6千2百万円を費やし、  
これを記念して中堤に建てられました。

### 1 恵斎(けいせい)湖

碑文(表)

碑文(裏)



寛永年間、池が築造されて360余年幕政が終わり明治から平成の今日まで満々と水を湛える入鹿池

21世紀を目の前に水の貴重さは更に増し水資源を守り育みその高度利用が池を管理する者の永遠のテーマである日本一を誇る入鹿池が地域発展に貢献し緑豊かな美しい湖であり続けることを心より願うものである。

(新事務所竣工と入鹿池が永久に恵をもたらすことを祈願して改良区構内に建てられた。)

入鹿池 恵もたらす 永久の湖

平成10年11月3日 入鹿用水土地改良区

理事長 水野重信

### 入鹿池主な年譜

寛永5年（1628）尾張藩主徳川義直公に六人衆が入鹿池築堤を提言、同10年河内堤完成

明治元年（1868）河内堤破壊、同17年堤防増築 長95間（約173m）

明治18年 水利土功会組織発足 同32年入鹿用水普通水利組合設立

昭和27年（1952）入鹿用水土地改良区設立、同32年 愛知用水公団事業に地区加入

昭和58年 愛知用水二期事業着工、平成12年愛知用水二期事業パイプライン化工事完成

平成10年（1998）入鹿用水土地改良区新事務所竣工（11月3日）

平成13年 新取水塔完成

〔平成16年度 愛知用水二期事業（水路等施設）完了、同18年度（牧尾ダム堆砂対策事業完了）〕

平成17年度 入鹿池高度利用開始（4/1～30、10/4～3/31）

入鹿池高度利用とは

愛知用水土地改良区地域の冬期（10/4～4/30）畑地かんがい面積が1684ha増加したため、不足する冬期かんがい用水5252千t（※1）を入鹿池から幹線水路へ送水するものである。 ※1＝冬期かんがい水量S23～42の20ヶ年平均

## 参考

## 愛知用水の主な書籍等

### 1 愛知用水公団

#### ① 愛知用水グラフ

1号 (p23) 昭和33年5月発行 (非売品) 2号 (p31) 昭和33年8月発行

3号 (p24) 昭和35年3月発行 (非売品)

#### ② 愛知用水 その建設と全貌 愛知用水事業完成記念写真集 (p112) 昭和36年9月30日発行

#### ③ 愛知用水技術誌 ダム編 (p814) 幹線水路編 (p765) 支線・開墾および畑かん編 (p517) 仕様書及び計画書編 (p301) 昭和37年8月31日発行

### 2 愛知用水公団・愛知県

愛知用水史 (p741) 同資料編 (p516) 昭和43年9月30日発行

### 3 愛知県

愛知用水二期事業支線水路工事誌 (p 186) 平成17年3月発行 愛知県農林水産部

### 4 愛知用水総合事業部（水公団～水機構）非売品

#### ① 牧尾ダム工事写真集 昭和33年作成分を再製本

#### ② 長野県西部地震に係る牧尾ダム災害関係写真 (p 57) 昭和61年5月作成

#### ③ 愛知用水30周年記念 豊かな水をありがとう (p231) 平成3年9月15日発行

#### ④ 愛知用水二期事業工事誌水路編 (p218) 同水路施工例 (p247) 同写真集 (p96) 平成17年3月

#### ⑤ 牧尾ダム堆砂対策事業工事誌 平成18年3月発行 (p90)

### 5 愛知用水土地改良区

#### ① 愛知用水だより (昭和53年1月1日 No1～平成23年5月現在 No71 発行)

#### ② 愛知用水土地改良区五十年の歩み (p415) 平成14年10月16日発行

#### ③ 愛知用水土地改良区「研究編」 (p402) 平成17年3月23日発行

### 6 可児土地改良区

#### ① 可児土地改良区沿革誌 (p364) 昭和42年12月15日発行

#### ② 可児土地改良区50周年記念誌 (p128) 平成18年10月発行

### 7 不老会創立四十周年記念事業推進委員会

愛知用水と不老会－用水建設に命をかけた久野庄太郎とその仲間達 (p434)

編著者 浜島 辰雄 2005年3月25日発行 (非売品)

### 8 水の思想 土の理想 世紀の大事業愛知用水

著者 高崎哲郎 鹿島出版会 2010.8 発行

#### ◎ ビデオ等 (一部DVD化) 6は愛知用水土地改良区制作

#### 1 愛知用水 第一部 (42分) 第二部 日本語版 (46分) 第三部 英語版 (46分)

#### 2 水の恵み 新世紀～愛知用水40年 (18分) 日本語版 英語版

#### 3 水とともに文化を育む 愛知用水～事業概要～ (23分) 縮小版 (14分)

#### 4 愛知用水二期事業概要 若返る愛知用水 日本語版 英語版 中国語版

#### 5 愛知用水二期事業 幹線水路の改築 工事の記録 (10分)

#### 6 愛知用水土地改良区 創立40周年記念 いのちの水 平成4年9月 愛土改制作

#### 7 水を守り水を育む 牧尾ダム堆砂対策事業 (18分) 平成19年3月



愛知用水二期事業（水路部分）完了記念碑除幕式（東郷調整池）

平成16年10月



愛知用水二期事業（牧尾ダム堆砂対策）完了記念碑除幕式（牧尾ダム）

平成18年10月

☆ おわりに

愛知用水ができて50年

私たちは、愛知用水誕生にかけた人々の苦労も  
そして、用水の水を初めて目にしたときの感激も  
もう、忘れかけようとしている

それは、あまりにも今が豊かだから  
一日中、明けても暮れても、水を汲んだあの日は  
遠い思い出となってしまったのでしょうか



はねつるべで水を汲む

## 年譜

- 昭和23年10月 地元有志による 愛知用水期成会 発足  
昭和30年 9月 愛知用水事業 基本計画告示（実務開始）  
昭和30年10月 愛知用水公団 設立  
昭和32年11月 工事着工  
昭和36年 9月 工事完了（通水・管理開始）  
昭和43年10月 愛知用水公団 水資源開発公団への統合  
昭和57年 3月 木曽川水系水資源開発基本計画一部変更 （愛知用水二期事業の追加）  
昭和58年 3月 二期事業建設工事着手  
昭和60年 6月 二期事業「事業実施方針の変更」指示 （支線水路等の追加）  
平成 8年 3月 二期事業「事業実施方針の変更（第二回）」認可  
（牧尾ダム堆砂対策の取り込み等）  
平成13年 4月 二期事業「事業実施方針の変更（第三回）」 認可  
平成15年10月 水資源開発公団が 独立行政法人水資源機構 へ移行  
平成17年 3月 二期事業建設工事完了（水路等施設）  
平成19年 3月 " （牧尾ダム堆砂対策）  
平成19年 4月 愛知用水総合管理所発足  
平成23年 5月 水源地感謝祭（於：松原スポーツ公園）  
平成23年 9月 愛知用水通水50周年



農林省によって打ちこまれた  
愛知用水のベンチマーク

昭和26年豊明村に設置された

### 愛知用水総合管理所

- 470-0151 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字片平山25番地25  
牧尾管理所 397-0101 長野県木曽郡木曽町三岳7696番地1  
上流管理所 505-0303 岐阜県加茂郡八百津町伊岐津志241番地2  
中流管理室 愛知用水総合管理所内  
下流管理所 479-0003 愛知県常滑市金山字石坂201番地